

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	生ごみ減量化器材購入補助金		
担当所属	生活環境課	連絡先	092-332-2068

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規程	糸島市生ごみ減量化器材購入等補助金交付規程		
基本目標	基本目標3 海・山・川をたいせつにしたまちづくり		
政策	政策2 循環型社会の確立		
施策	施策③ 生ごみの減量と資源のリサイクルを推進する		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要		成果指標
【目的】 生ごみの堆肥化を促進し、ごみの減量を推進することにより、ごみ処理費用の削減を図る。		① 段ボールコンポスト補助個数
【対象事業】 ①ごみ減量化器材の購入、②段ボールコンポストの販売		
【対象者】 ①：ごみ減量化器材を設置する世帯 ②：段ボールコンポストを販売する事業者若しくは団体		

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
この事業を継続することで、市民がごみの分別、リサイクルを行い、ごみの減量化と資源の有効活用を推進していく。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 個	1,625	2,600

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	794,300	1,588,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題 家庭系ごみの排出量が増加しているため、家庭内でのごみ分別の徹底、3R推進の取組強化が必要。事業所ごみの排出量は減少しているものの、ごみの適正処理やリサイクルの推進が必要。リサイクルをさらに推進するため、資源ごみを排出・回収しやすい環境の整備が必要。ごみを減らすライフスタイルを定着させるため、環境教育の充実と実践が必要。
現状の周辺環境・課題 校区文化祭、出前講座等にて、市民への3Rの推進によるごみ減量意識の普及啓発に努めている。可燃ごみの4割を占める生ごみを減らすことは、ごみ減量施策に有効であり、生ごみ減量化器材購入補助金の交付により、生ごみの減量を推進し、リサイクルに努めている。
今後の予想される周辺環境・課題 今後も、人口の増加により、家庭系ごみの排出量の増加が予想される。引き続き市民へ3R推進による家庭系ごみの削減に努める必要がある。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等 ごみ減量化のために、3Rの推進が必要である。